

校種	学年	指導の重点活動				資質能力の向上
		語彙の充実	語彙の活用力	音読	読解	方策
小	1	・学習の際、 語の意味や成り立ち を深く指導する。	・学んだことを 文や会話の中で 用いる機会を増やす。	・ ひとまとまりの語を意識 しながら、また、言葉の響きやリズムなどにも注意して読むことに重きを置く。	・範囲を 短く区切り ながら文中の重要な語を考えながら 内容のたい を捉える。	・朝学習、学習補充教室、スピーチを活用する。また、引き続き家庭学習のプリントを行う。
小	2	・小1・2で学習する全ての漢字を習得できるよう、 ミニテスト を実施する。 ・身近なことを表す語句の量を増やすために、聞いたり読んだりする際に 新しい言葉に着目 させる。	・話したり書いたりする際にいろいろな表現を使うようにする。	・ 明瞭な発音 で文章を読むこと、 ひとまとまり の語や文として読むこと、言葉の響きやリズムなどに注意して読むことに重点を置く。	・物語文では、登場人物の様子について 具体的にイメージ したり 行動の理由 を想像したりする。説明文では、文章の中の重要な語や文を考えて 選び出す 。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で音読、漢字、日記、言葉のプリントを継続して行う。
小	3	・各自 辞書を常備 し、いつでも引けるようにするとともに、ゲームなどで楽しく触れられるようにする。 ・漢字の習得時は、同音・同訓異字など 意味や使い方を指導 する。 ・漢字ミニテストを実施する。	・言葉集めなどを通して、 言葉を分類・整理 して、ぴったりする言葉を意識して表現できるようにする。 ・「楽しかった」「うれしかった」などの言葉を使わないで表現する。	・ はっきりとした声 で読むとともに、 言葉のまとまり を意識して分かりやすく読む。 ・言葉の響きやリズムなどを楽しみながら読むとともに、声に出して速く読むこともできるようにする。	・説明的文章は「 はじめ・中・終わり 」の構造の型を、文学的文章は「 始まり・展開・クライマックス・終わり 」の型を意識し、段落や場面相互の関係をつかむようにする。その上で、広げて読んだりまとめて読んだりして、自分の考えをもつようにする。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・10分など時間を区切って視写し、優れた文章を視写する機会を増やす。
小	4	・新出漢字は ミニテスト を行い、いつでも再テストが出来るようにする。 ・ 漢字辞典を常備 し、自分で漢字を調べられるようにする。	・感想文やレポートを書く活動の時、わからなかったり思い出せなかったりする漢字や語彙を、 自分で辞書を調べる習慣 を付ける。	・ 毎回めあて をもたせて、ひとまとまりの語や文、句読点を意識させて読む。 ・言葉の響きやリズムなどを楽しみながら読むとともに、声に出して速く読むこともできるようにする。	・説明的文章では、「 はじめ・中・終わり 」の構造の型を意識し、内容の中心をとらえて短くまとめられるようにする。 ・物語文では、登場人物の心情、情景など 叙述を基 に捉える。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で漢字の学習、音読、自主学習を継続する。
小	5	・既習の漢字を習得できるよう、定期的に ミニテスト を実施する。 ・百人一首を行い、楽しみながら 古典的文章 に何度も触れる機会を設ける。	・辞書を用いた書く活動を行い、思い出せない漢字や語彙を、 自力で調べながら書く 場面を意図的に設定する。	・物語文においては「読み取った 心情に即した音読 」、説明文においては「読み取った内容から、文章を 効果的に説明する音読 」を意識する。 ・教科書にない詩なども音読の家庭学習とし、 様々な文章に親しむ 。	・物語文では、登場人物の相互関係や心情について、 描写を基 に捉える。説明文では、事実と感想、意見の違いを押さえ、文章全体の 構成を捉えて要旨を把握 する。	・朝学習、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で漢字の学習、音読、自主学習を継続する。
小	6	・小学校で学習する全ての漢字を習得できるよう、 ミニテスト、診断テスト を実施する。	・各授業において「自分の考えを書く」、「ペアやグループでまとめて考えを書く」、授業の終末に「まとめを書く」という「 3つの書く 」活動を実施し、 意思の伝達をする場面 を設ける。	・物語文においては「読み取った 心情に即した音読 」、説明文においては「読み取った内容から、文章を 効果的に説明する音読 」を意識させる。 ・ 国語以外の教科の教科書も音読させる 。	・物語文においては 登場人物の言動と根拠 を、説明文においては 主張と根拠 をはっきりとさせることを意識させる。	・朝学習やスピーチの活動を活性化させる。 ・家庭学習を習慣付ける。 ・家庭学習の内容を精選する。
中	1	・漢字の習得を目指した 定期的な漢字テスト を行う。 ・教室に辞書を常備し、語彙の補充に活用させる。 ・「共通語」と「方言」の果たす役割について理解させる。	・主に 鑑賞文やレポート 作りなどを通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・音読による 漢字の読みの確認 を行う。 ・口語自由詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、 表現の仕方を理解 して音読する。 ・話の構成や自分の立場を明確にした グループディスカッション やスピーチを行う。	・ 根拠を明確 にしながら、 自分の考え をもたせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。
中	2	・漢字の習得を目指した 定期的な漢字テスト を行う。	・主に 意見文や創作活動 などを通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・音読による漢字の読みの確認を行う。 ・口語自由詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、表現の仕方を工夫して音読する。 ・話の構成や自分の立場を明確にした グループディスカッション や プレゼンテーション 、 討論 を行う。	・文章の比較や表現の効果から、 自分の考え を広げ深めさせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。
中	3	・漢字の習得を目指した 定期的な漢字テスト を行う。	・主に 批評文の作成 を通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・文語定型詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、表現の仕方を理解して音読する。 ・話の構成や自分の立場を明確にして 説得力 のある話し方を意識させた グループディスカッション や パブリックスピーチ を行う。	・文章の構成や展開について 評価 しながら、 自分の意見 をもたせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。

